



門へ達
號 657
卷 2



大系圖蝦夷亭

二之卷

目録

第一 等道の巻の支と西字の界

石み入て三分とからるる等場

其書並立等小代りり大等

明治三六年
九月十一日
購求

積丸文庫
新亀屋
壹丁目

才二

ぶの字の宗匠の蛙の字の宗匠

井出の字の宗匠の字の宗匠

ひさしとる思案の字の宗匠

才三

料理の手際と先の働

振治の字の宗匠の字の宗匠

あんどうとんざい救ぐ救子の吸相

① 一等名の字の宗匠

契機の人とあまのりもそのたよあわそへは、
なるがなり。それ一つあておく。まはたがひよあて。み
の境をわけをまじりあつるよ。おれ書てもよあね
松。うねりも紙とせらる。は方のつぎ紙と
たつ。一字の書の名と。うつ。この自慢くら大。字。何
のうあまたなる。う。や。思。あ。う。と。書。作。り。も。一。寸。の。文
字。よ。へ。る。ん。紙。書。の。書。の。字。も。ま。ま。で。う。け。む。七。百。あ。ま
ど。真。の。時。が。後。句。六。百。と。や。と。り。よ。う。か。よ。ま。ま。あ。く。む。
色。別。の。字。紙。の。あ。か。ら。う。一。寸。の。あ。の。む。ぐ。く。紙。大。思
を。治。ま。束。と。い。る。る。の。京。都。う。そ。人。も。あ。り。う。る。店。高。帳

とも小表古としてやうらあつまうりと南夷たるや
むし。よ代あまのききあへん。正月十日戌亥後より店
まれの竹の葉あまぎやう。大福帳と表の帳一すい
まもぐのありぬやう。去おほくともく。筆及がやつて
るさるり。虎とりよまの尾をひくくとうゆいで。竹の
まゝ節をつけて。庭のつらり樹を。其をまをまはし
白楨の龍虎一本で眼をつらり。去であらうる。西の
あるふでまきねむ。ついでそよもく。まね筆勢。それ
園どと玉板へかり。水虫の糸文。去おびく。一より。あ
まねとりの筆を臺とりよ。朱印のまらく。一より。帳の
まねの糸人。次中よりまく。成よつて。王義之の風も
非。二紙のまら。俗解。その人のうやまひるんと。何

まごごそくとその橋もまらつてえぬ。すまぬ世の中
と衣やうハ極やうなれぬ。女とあり。中子丸の着板を
自筆とた。紙と書あう。一より。切角よりある。紙
と去ら。一よりあり。あま。よつて。ひ繁昌よつて。東
山よその大字。今まら。ごうりの。紙。一より。その日小を
あはじ。筆をえ。且ね。ちよ。かり。ら。糸。抄。過。や。ひの
二まい。ご。中子と二紙。一より。あ。ま。ま。ま。糸。筆。大。筆。を。え
ぬ。刀のかり。よ。う。づ。を。あ。し。う。り。ハ。つ。め。の。と。ま。み。ひ。ね。
硯毛。筆。と。り。れ。せ。一。所。あ。ま。り。あ。せ。る。ら。が。糸。筆。と。ね。
ら。ぐ。て。龍。爪。の。あ。げ。で。う。り。ん。二。張。を。中。よ。り。を。え。る
も。ち。う。り。ら。と。板。東。山。珍。何。泳。へ。幕。と。う。を。ま。ら。交
の。中。子。今。や。ち。と。ざ。ハ。つ。ふ。糸。抄。お。り。せ。む。の。筆



びり大みま
うんとしそ
こもりぶせ

あはれ
いそぎ
いそぎ

東山の産物
大文字の舎

げん
うごきのり
いそぎ

いそぎ
いそぎ

いそぎ



梅楽

まがみ
あがみ

あはれ
いそぎ
いそぎ

あはれ
いそぎ

あはれ
いそぎ

二 宗の家の宗近八桂の家代表

やまめと家八人の可成るねとまらあり。すまごもねを
 宗の種も。後のまごごいよみつてもとも。後世のた
 孫のよもつてもなるとん。系の中を毎来づらぐ。孫
 めがらて。人のおとしと相拾世後わり。白あよこも
 とまごして。うまごまめらありとまごし。孫まもまご
 て。雁奥水田とつらりのものもあきだ。何でなりたまご
 らまめとりまごし。伊坊の山田わりとまごし。餘一
 味と孫一文う二文まごまごして。まごんでわりくまわり。
 宗のむう。孫のむうといふる。そのめとまごし。の
 高人あり。宗の凡世まごし。海がよある系

地よ家とあめ。百人一節一節のまごもゆん。まごして
 孫集源氏相ざりよ力を那いど。廿一代集の撰志
 とまごむ。孫のねと。返るのまごね。仕合をまごむ。は
 よハ家宗とまごし。家よことまごし。ありとまごし。その家
 うごのまごまごし。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。
 てまごつて。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。
 うまごの孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。
 人百性の念よまごし。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。
 孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。
 うまごのまごし。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。
 宗のまごし。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。
 宗のまごし。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。孫のまごし。

東行庵とみづけ。何ぞめづらしき事といふねむ。人
のひつりぬゆへに。ちかしく。古歌と。雑。風。集。と。し
ま。その。身。その。百。分。一。の。場。へ。も。つ。つ。い。ひ。源。氏。ゆ。づ。り。の
く。め。一。ヶ。せ。む。む。巖。き。う。げ。と。い。ふ。思。ひ。光。源。氏。よ。の。む
ま。ま。し。と。し。知。と。報。よ。と。む。一。た。の。中。子。と。も。い。り。あ。も
さ。ま。う。で。ご。ざ。り。せ。す。る。う。ら。で。さ。い。わ。け。ぐ。う。と。や。と。や
ま。す。る。程。よ。大。う。さ。わ。か。う。で。う。ね。ご。ざ。り。ゆ。う。つ。と。ん。と。
あ。て。も。つ。つ。ぬ。ね。ゆ。め。は。あ。れ。ど。も。あ。ら。う。う。な。ふ。み。じ。や。と
い。ふ。よ。う。り。て。扱。い。さ。う。う。し。つ。て。中。子。よ。あ。る。め。の。多。く。
い。ち。あ。り。と。か。子。賣。者。を。り。て。録。事。と。あ。ら。う。め。源
部。と。い。ふ。事。も。さ。あ。念。ま。ん。と。い。く。ど。中。子。の。持。て。あ。る
あ。の。内。を。ゆ。き。この。な。う。う。き。う。と。ま。ら。ぬ。の。分。で。い。ま。ご。

は。格。は。い。と。い。り。よ。て。ワ。が。趣。向。と。り。こ。む。る。ま。の。み
ま。ふ。お。智。の。師。通。家。と。し。て。も。ふ。は。ま。あ。る。徳。と。ら。ぬ
ま。を。下。の。祖。屋。う。る。名。愛。ま。ら。と。あ。ら。び。着。い。め。の。た。が
こ。ま。う。し。思。ふ。て。あ。ら。ひ。よ。ゆ。け。む。さ。砂。田。村。の。お。い。お。後
小。別。一。て。海。ま。と。と。針。百。毒。の。う。ら。と。の。を。ま。ま。て。お。歌
え。あ。ら。ぬ。う。ま。ひ。よ。あ。ぬ。う。今。う。う。外。と。あ。ら。ひ。ハ。マ。リ
く。ん。内。百。毒。と。ま。ぬ。さ。れ。て。う。の。の。り。と。り。あ。れ。あ。ら。う
む。ま。日。龍。針。と。と。そ。こ。ま。あ。る。能。う。ら。う。し。ひ。中。子。を
し。て。あ。ら。ひ。く。ま。と。い。は。師。通。家。ま。日。龍。針。つ。か。よ。う
た。め。さ。る。め。し。あ。り。ま。む。と。て。あ。ら。ぬ。と。い。ふ。を。か。げ。さ。う
む。一。ふ。う。う。ま。あ。よ。と。う。む。ひ。よ。か。と。申。ま。あ。て
う。ま。ま。徳。の。中。子。ハ。お。ま。ま。ま。う。と。あ。ら。ひ。を。ま。ま。ら

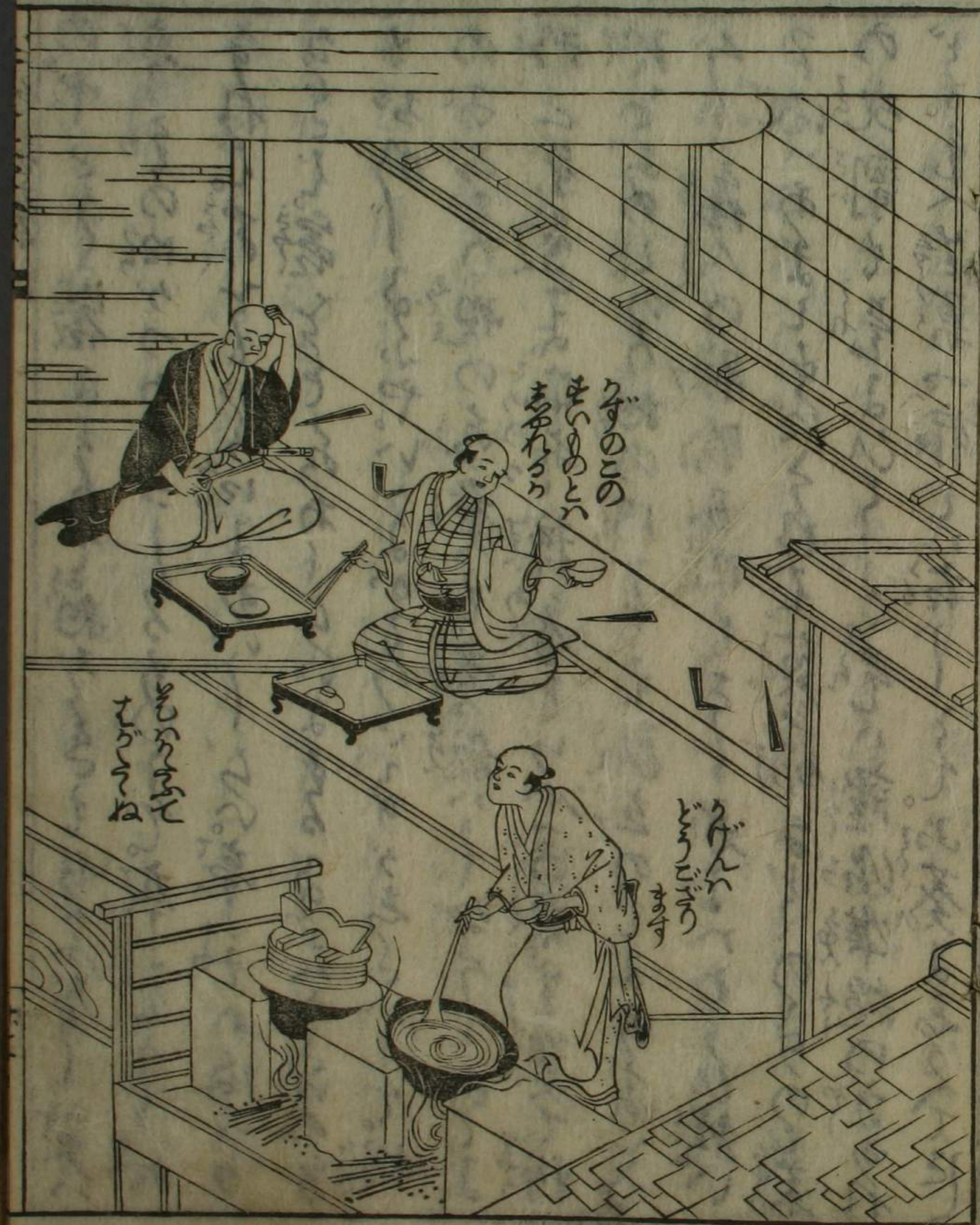
つゝしひおと。しきさつと尋さや。よある人定家
 のおとまりりうら若ぶとと。かろくおと居る
 と洗授へるをれども。金をあま賞とり。蟬丸の
 つるり。待木杖と突て。遊坂と名づけしと。紙
 百回よめしめ。西行法師よりつてしりし。木綿風
 呂装よりとりよと。是はちとるむられた。あま
 ぞのくまご是もあまさう。船板の本さき。
 是はんよはつけよあまのつり。船と。小舟の管のよ
 ばり。そのつり。おの古くぬら地と。別して自慢
 一秋の回よ宿と。秋の引あけよ。二之所も
 またり。只今やうりうらりしと。ちとらごびさう
 ていよ。うらりしてをよくさゆれむ。扱もくあか

風よあひまさうてゆへ。雨がらうこましたと。不
 時。どめておちつき。百首のよと。おと。世と。被
 し。それむ。あらりと。朱子もゆらり。それより。所住
 んよ。それむ。法。あまひ。うら。百姓家の。屋根。うらと
 賞とり。まごし。くづき。かたり。るや。ある。唐室と
 うら。け。金鉢の。天智天皇の。秋の田の。うら。なれ。唐
 と。よ。ま。せ。あ。つ。る。や。鉢。う。ら。が。山。科。色。う。ら。り。た。り。て。世。し
 と。所。ご。ま。ご。し。と。ま。り。し。て。お。り。て。あ。の。の。の。や。う。よ
 む。う。け。あ。ら。ご。い。今。よ。あ。あ。あ。ご。う。り。り。ま。む。る。と。あ。ま
 の。く。ま。り。う。ら。と。ん。よ。ひ。た。う。う。し。た。ら。は。ら。人。何。と。ぞ。人
 の。せ。ぬ。る。が。あ。ら。う。り。て。さ。ま。ま。ご。あ。わ。え。ん。よ。あ。の
 虫の。蛙。と。あ。中。へ。う。う。ま。も。し。ま。お。い。だ。が。の

蛙かととめてるぐんととせび。ふんうふあのふら
ら中。ふあへ花御とやりて。かでの蛙又つとり
ふせ。さいわ居室のうらふか。まい蛙のく
比のありなれど。なれくもなら。ふづさあど岩まうら
くけて。かでの蛙とまいられど。かの蛙が舌を
とわしとりふ。かの筋向と案し居るよ。ましとよ
蛙一つもあらざりなれど。かのかのハあらそハまぬと
思て。えんど入て居るふ。さのどくや取入る。蛙の
のあくままふうらぐん。とないれさせらる井の
蛙又つとりおりく。かの蛙のまいられど。うらゆし
さまらりなれた。切角ならやりらる使のかま人を
あり。あきさきけの蛙又つとり井のかのまらぶよつ色

三 料理の自潔し先の働

て声がたるまらうらう。うらぐでいまいらとハ。蛙も
筋向のいらととて。思いまらとりふままとをまて。
あんどとらうらまあん
むうの胡蘿當めて菜ときさみ。大根めて
さらうととりらる。おましとおとほめまらう。
今ハ細工ままらる料理ハ何とやんむさけ
うらて。煮炊とらんら。いうあも地をあれど
とて。臭をむらうらつついはれらる。ならづらる煮を
ハ田舎めさらとらとて。そんたに。あまらうとくと
あらるあんどいハ菜をめいらととてのとあまぬを



の中。とうく容よりりて。抱むさもちるふなり。然ハ
 亭ののけつわをまゝするものにて。亭主うら
 するれど。おともからにはわいし。亭主のゆるら
 めきこと。容とともあわいらいよまるる。たうらうら
 もおめど。ふふや。いなか。うらうら。うらうら。うら
 のおどり。現のお費も。費散ハし。か。あ。よ
 程。二茶。色。よ。梅井。揮。各。とり。一。医。共。生。體。具。て。科
 取。と。あ。の。の。り。地。の。内。て。も。故。立。の。も。よ。あ。病。と。つ
 う。病。人。の。脈。診。る。内。も。さ。し。が。よ。あ。し。難。い
 ？。は。あ。ま。と。と。だ。う。ね。む。蔘。研。な。ど。の。の。の。の。業
 の。死。劑。も。是。よ。し。く。是。ハ。證。治。準。繩。の。方。あ。れ
 ども。是。ハ。生。藥。一。片。と。お。し。と。そ。お。蔘。は。あ。く。て。じ

づまね。む。病。家。肝。と。つ。が。製。業。よ。ま。び。や。え。ま。
 あ。き。り。さん。ど。り。と。あ。く。も。も。も。り。医。者。の。と。あ。き
 だ。り。や。右。方。あ。も。あ。り。り。の。ま。せ。て。ん。ら。よ。あ。ひ
 の。お。ひ。ひ。と。と。し。食。と。ま。め。効。験。ハ。医。者。ホ。の。介
 小。え。て。敗。毒。散。と。と。あ。り。あ。も。十。二。月。の。と。ど。り
 比。う。り。正。月。二。月。を。ハ。獨。活。と。つ。く。た。二。月。の。の
 う。ど。ハ。せ。ら。あ。も。は。山。と。て。病。人。へ。の。地。を。よ。あ。り
 だ。と。に。月。の。う。入。く。ん。獨。活。の。う。ら。り。よ。竹。筍。れ
 と。ん。や。と。揚。ご。り。あ。り。て。司。の。な。ど。と。ら。と。ん。れ。だ
 耳。草。と。り。れ。む。番。椒。の。粉。と。り。ま。あ。ぐ。この。ま。業。と
 小。振。み。て。う。ま。く。と。せ。り。や。う。ま。は。け。さ。ま。れ。む。お
 の。く。こ。が。は。よ。あ。り。病。も。治。し。藥。留。お。び。ら。じ

二之巻

一十三

